

公開授業 学習構想案（略案） 中 2 年

授業者 松岡 陽香 学校名 八代市立二見中学校

題材名 きらめき ゆらめき～光に気持ちを重ねて描く～

題材の目標

- (1) 季節・時間・天候によって変わる光に着目し、作者の心情や表現の意図について考え、それらが感情にもたらす効果、よさや美しさなど見方・考え方を深める。
- (2) 情景の中の光の美しさに自分の思いを重ねて、空気感や情感を表現することに関心を持ち、意欲的に取り組む。

題材終了時の生徒の姿（題材のゴールの姿・期待される姿）

○光の効果や美しさなどをとらえて表すことに関心を持ち、作者の意図を自分なりに感じ取り、他者と意見交流する中で見方や感じ方を深めようとする生徒

題材を通した学習課題材 （題材の中心的な学習課題）

○印象派の作品鑑賞を通して、光の変化に着目し、美しさや色彩の変化を感じ取る。

題材で働かせる見方・考え方

○印象派の画家たちののびのびとした色の選択や筆跡を感じながら、自分の価値意識をもって他者との考えを交流する中で、見方や感じ方を深める。

指導計画と評価計画（2 時間取扱い 本時 1 / 2）

過程	時間	学習活動	評価の観点等
1 次	1 時間 ○	作品鑑賞を通して、光の変化や変化による空気感を表現する印象派の特徴を知る。	【思】【態】印象派の微妙な色の表現や、筆跡等に着目し、印象派の特徴を捉えている。
2 次	1 時間	印象派の作品鑑賞を通して、微妙な色の変化やそれらがもたらす効果に着目し、よさや美しさを感じ取る。	【思】【態】作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどとして、根拠をもって作品のよさや美しさを感じ取っている。

研究テーマとの関連

- 【研究の視点①】音楽やファッションのように、美術にも流行があることを認識させることで、印象派についてどのような特徴があるのかという問いをもたせる。
- 【研究の視点②】絵画をパズルにし、色やタッチの微妙な変化を感じさせることにより、意見交流の話題を提供し、有意義な話し合い活動の場面を設定する。
- 【研究の視点③】振り返りの視点を提示し、何を学んだのか生徒が実感できるように終末に振り返りの時間を確保する。

本時の学習

【本時の目標】

印象派の微妙な色の表現や、筆跡等に着目し、印象派の特徴を捉えている。

過程 時間	学習活動	指導上の留意事項	備考
導入 5分	1 問いをもち、本時の課題を把握する。 ①絵画運動について知る。 ②「印象派」と呼ばれた画家たちがいることを知る。	○プレゼンテーションで近世美術の絵画運動の流れを提示する。 【学習課題】 印象派の誕生にはどのような意図や思いがあったのだろう。	スクリーン タブレット
	めあて 印象派が目指したものは何かを考えよう		
展開 35分	2 印象派の特徴について考え、話し合う。 ①パズルを組み立てる。 ②パズルの特徴について意見を出す。 ③印象派が表現したかったものが何かを考える。	○スカイメニューを活用し、絵画を分割したものを組み立てることで微妙な色の変化や筆跡に意識が向くようにする。 ○自分の考えを説明するために、主語（色・線・形 等）を明確にして説明をさせる。 【具体の評価規準】 （思）（態）微妙な色の変化が光によって起こるものであることを理解し、印象派が目指したものが何かを自分なりの言葉で説明している。（ワークシート、発言）	スクリーン タブレット ワークシート
終末 10分	3 本時の活動を振り返り、次々の見通しをもつ。		ワークシート
	まとめ 印象派は、太陽の光によって変化することを微妙な色合いで表現し、自己表現を追求した。		